

海の向こうから

平成13年度留守家族懇談会を開催しました。

去る2月24日(日)に平成13年度留守家族懇談会を広島市留学生会館にて開催しました。

今回は16名の派遣中隊員のご家族計24名の留守家族の皆さん、広島県の中宮国際企画室長、JOCAC中国支部の隋林支部長を来賓に迎え、JICA及びOB・OGからは総勢25名の参加がありました。

昨年度も好評だったOB・OG(ほとんどOG)による任国料理を準備し、なごやかな雰囲気の中、懇談が行われました。懇談中にそれぞれの留守家族の皆さんに近況報告をしていただきましたが、留守家族の皆さんのいろいろな思いがお伺いでき大変興味深いものでした。

最後にご協力いただいた、OB・OGの皆さん本当にありがとうございました。



懇談会の模様です。



料理です

平成13年度の総会を開催しました。

留守家族懇談会の終了後、同会場で平成13年度の総会を開催しました。出席者と委任状を合わせて総会成立ギリギリの数字で冷や冷やしました。

平成13年度の活動・決算報告及び平成14年度の活動・予算の承認が行われました。

今年度は、12月に国際会議場で行われる「国際協力の日」への参加と帰国隊員のOB会への定着を目指して、派遣隊員支援を新たに行うこととなりました。

最終頁に今年度の役員と担当を掲載しております。

今年もよろしくお祈いします。

総会で確定できなかった、平成13年度の決算書を報告します。

平成13年度 広島県OB会決算書

青年海外協力隊広島県OB会

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	656,551	事業費	545,449
助成金	734,435	会報発行	40,303
JICA中国国際セ	376,555	中国ブロック	61,570
青年海外協力協	357,880	秋祭り	125,414
雑収入	53	酒まつり	30,296
受取利息	53	中学生エッセイコンテ	37,980
事業収入等	118,370	帰国報告会	95,115
秋祭り	88,920	壮行会	14,500
酒まつり	19,450	留守家族懇談会	138,058
寄付金	10,000	国際協力の日	2,213
		組織強化費	30,000
		JOCAC会費	30,000
		事務諸費	11,415
		次年度繰越金	922,545
合 計	1,509,409	合 計	1,509,409

新隊員さん(13年度3次隊)いってらっしゃいアンケート!!

氏名 職種 派遣国 出身地 訓練所	高橋 和久 青少年活動 パラオ 福山市 駒ヶ根	橋本 勉 バレーボール モンゴル 福山市 二本松	奥家由希子 日本語教師 インドネシア 広島市安佐南区 二本松	山崎壮一郎 電子機器 タンザニア 広島市 二本松	西本 栄二 土木施工 フィジー 広島 駒ヶ根
自分のことを一言でいうと?	Think deeply	恥ずかしがり屋で、さみしがり屋さん	A型人間	チイスガイ	頑固
協力隊に参加しようと思ったのは...?	AIESEC(大学のサークル)でボランティアや途上国について勉強し、少しでも役に立ちたい	大好きなバレーボールで世界に行けるのなら...と思った	海外で働きたいと思ったから	昔から興味があったが、直接的には姉の影響です	日本の縦割り社会にうんざりした。強くなりたかった。
実はこの国に行きたかった	パラグアイ	特になし	タイ	タンザニアです	モロッコ、パラオ
派遣国を知っての第一印象は?	海がきれい	寒そー	友人と同じで心強い	予定通り	リゾート地
訓練中、一番楽しかったこと、困ったこと、楽しかったことなど	語学(英語)が楽しく厳しかったです	楽しかったのは語学。難しかった人間関係	一番厳しかったのは、月曜の朝。困ったことは、やりたいことが出来なかったこと。 楽しかったことは、友人が増えていろいろ話を話せたこと。	語学訓練は厳しかったが、最高に楽しい3ヶ月でした	楽しかったことは、候補生で行ったイベント事
任地・任国で何をしたいですか?	国をあげてのスポーツ大会	子供と遊ぶ	学校以外での日本語教育活動	子供と仲良くなりしたい	任国の人々の生活を知る
あなたにとって青年海外協力隊とは?一言でいうと?	人と人のつながる所	自分を成長させてくれるもの	最前線で行っている国際協力	2度目の青春	自分を成長させるための手段



13年度3次隊の壮行会を開催しました。
場所はいつものサワディーと思いきや、何とサワディーが予約で一杯なので、津森マスターの知り合いのお店の「うどん屋せん」で開催しました。

また、14年度1次隊の壮行会を7/8(月)に行います。事務局長の中堀さんからご連絡が行くとありますが、ご参加をお待ちしております。

ここがせんです



壮行会の模様

隊員からの活動報告です。まずは11 - 3の羽熊さんからです。

中米グアテマラで活動を終え、この4月で帰国します。最後に協力隊を振り返って、報告をさせていただきたいと思います。中米グアテマラはマヤの先住民が国民の50%以上を越え、マヤ独特の習慣、言葉が色濃く残っている国です。観光資源としては世界文化遺産の古都アンティグア、マヤのティカル遺跡、幻の国鳥ケツアルの住む自然公園などがあります。何よりも先住民の華やかな衣装や工芸品が出る市場や祭りには、世界中から観光客が集まります。国土も肥沃で、主食のトウモロコシやフリホーレス（黒いんげん豆）を植えればどこからでも育ちます。

これだけ資源に恵まれた国でありながら、長引いた内戦の後遺症、現在の政治腐敗と経済悪化、プランテーション農業の行き詰まり、治安悪化など、様々な問題を抱えています。

私は協力隊合格通知が来て初めてこの国の名前を知りました。知名度の低さや内戦後の国という事もあり、一抹の不安があったものの、今はこの国に赴任できて本当に運が良かったと心から思えます。

私の職場は国の職業訓練庁でした。非常に整った組織であり、講師も職員も皆協力的で、非常にスムーズに活動ができました。私は純粋に技術援助と人材育成や食品開発に集中することができました。

私は新規でしたので、食品加工課を立ち上げ、調理室を整備しながら、企業への食品加工コンサルや住民への講座を続けてきました。カウンターパートも向上心があり、すぐに教えた事を習得し、1年目には僕以上に講座をこなせるようになりました。もちろん、着任時に加工機材おろか鍋の一つも無い、とか、研究する材料費が無いとか様々な小さな問題はありましたが、いつもカウンターパートと共に考え解決してきました。職員の協力無しではここまでの活動はできませんでした。あくまでも我々は外国人であり、現地人の会話力や交渉力、現地に根ざした活動には敵わないのです。つまりあくまで、我々は彼らの自立心や向学心に協力する黒子役でなくてはならないと感じました。外国人が現地人の協力無しに、派手な「援助」という花火を打ち上げて、そのまま帰っていても何も残らないのです。

私は、赴任当時から、日本からの機材援助や支援経費も全く出せないけど、技術はいくらでも惜しみなく教えられると言っておいたのがよかったのでしょうか、「JICAから物をくれ」コールは全くありませんでした。私が何も与えなかったのに、後任にもそれは求められないでしょう。逆に、本庁に調理室を作ってもらったり、機材を購入してもらったりと、こちらが恐縮してしまいました。生徒達も自分達で鍋や材料を持ち寄ってくれました。グループには取りまとめるリーダーが必ず出てくれました。資金もくれない、準備もしてくれない、頼りない講師と思われる位の方が現地人の自助努力を促すのにはいいのかもしれないですね。

2年の協力隊活動で何が出来たか疑問に思ったまま帰国する隊員もいます。残念ながら、協力隊は無い方がいい、国際援助が逆に害になるという、偏った結論に達する隊員もいました。良い活動ができた隊員とうのは、たいてい職場や任地の人々と上手く付き合ってきた人のようです。どんな高価な機材を入れようともどんなに大きなプロジェクトを遂行できたとしても、現地の人とのコミュニケーションが上手くいってなくては何も残りません。残るのは機械と援助したという形だけでしょう。協力隊員は技術の援助に来ていますが、それ以上に人と文化の交流も行いに来ているのです。それは先進国から途上国への一方的なものではなく、対等であり相互的なものでなくてはなりません。協力隊員はそれを無意識の内に体験しているはずで、私も、専門である「食文化」というテーマで多くの事を学びました。税金で来させてもらった我々は、それを帰国後、日本社会に還元するというのも協力隊活動の延長と言えるのではないのでしょうか。帰国後どう表現できるかは個人次第だと思います。

最後に、この2年間の貴重な時間は、今後の私の仕事や生き方に大きなプラスとなりました。この機会を与えてくれたJICA、地元の人々、他多くの方々に感謝したいと思います。

広島に帰ったらとりあえず、グアテマラ料理講習会を行います。くわしくは以下のホームページか、アドレスまで。

Email ko_haguma@hotmail.com

協力隊活動と世界食文化のホームページ<http://www.geocities.co.jp/Foodpia/9158/index.htm>

12 / 3の藤田隊員からです。

12 - 3でザンビアで理数科教師の藤田です。タイ料理はご馳走様でした。広島のおBOGの方々は元気でしょうか？

実はこのたびメールいたしましたのは相談がありましてメールいたしました。

私の学校でスクールバスを日本から買いたいという校長からの依頼がありまして、さてどうしようものかいなと思ひましてメールいたしました。先輩やJICA関係者に聞いたところ、日本にはバスをただであげてもいいと言う団体があるとききました。こんな団体あるんですか？ なにか言い情報がありましたら教えてください。

ちなみに学校は50万弱くらいは出せると言うことで、JICAとしては当然バスを買う金はだせないとのことでした。

広島から手紙は楽しくよまさせていただきます。ありがとうございました。

こっちに赴任してからの感想は「こんなものか？」と言う感じです。自分が想像していたより自分の活動と言うのはかがやいていいものではないですね。

ということで、いい情報をお持ちの方、ご一報ください。(吉田)

13年度2次隊、ラオスの本多隊員からです。

12月にラオスへ入り、現地語学訓練を終えて、1月15日にサヤブリ県に赴任しました。ちょうど1ヶ月が過ぎたところです。

まだまだ言葉に苦労して活動どころではない、という現状ですが、こちらの人は皆さんとても温かく受け入れて下さるので、分からないなりに楽しんでいます。また、サヤブリには、英国・豪州などからもボランティアの方が来られていて、その方達とも外国人同士で仲良くやっています。

仕事の方は、言葉がダメなくせに処置や注射は行っています。「ちょっとチクっとしますよ～」って日本語で言いながら・・・患者さん、相当コワイでしょうね。スタッフは逆に、積極的に日本語を覚えてくれて、今では挨拶は皆、日本語なんです。外科Drが来月から日本へ研修に行くというので、彼には特別に「すぐに役立つ日本語会話」なるものを講義して差し上げました。看護婦というより日本語教師みたいですが、全くその通りです。

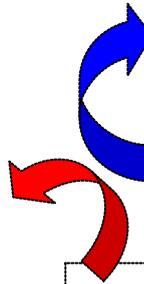
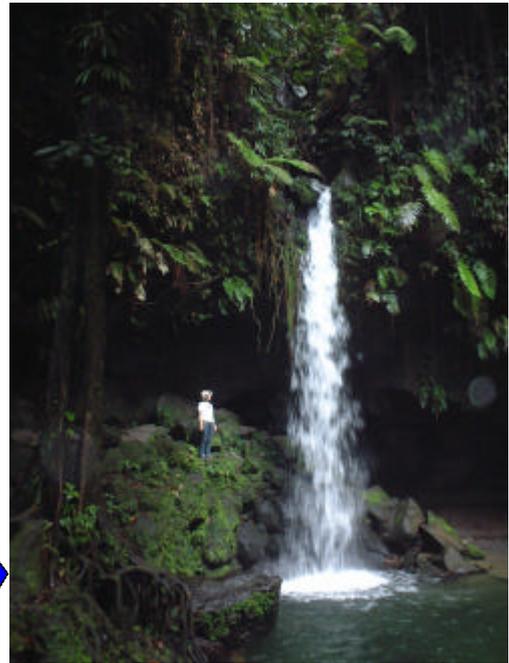
でも今は一人でも多くの人と話をし、私の事を知ってもらいたいと思い、とにかく病院内のあちこちに出没して日本語レッスンをしています。

JOCA中国支部の小幡さんからのドミニカレポートです。
 題して『もうひとつのドミニカ』

ドミニカと聞いてどこを思い浮かべるでしょうか？やはりドミニカ共和国ですね。もうひとつドミニカという名前の国があることはあまり知られていないですね。（実際私も知らなくて・・・英語圏なんですよ。佐渡島より少し小さい。）正式名称はドミニカ連邦、新規派遣国として、昨年派遣取極が成立したのですが、協力隊の具体的な要請をあげるというチームの一員として、今年の3月、このもうひとつのドミニカへいってきました。大統領をはじめ、各省のえらい方々にお会いし、この国が目指すところ、問題点、必要としていること、末端の現場にて協力隊に何が求められているのか探り出す・・・。

結構プレッシャーも感じつつ、毎日西へ東へと動き回り、協力隊の要請背景調査とはこのような流れでしているのか・・・と、2週間は本当に短かったのですが、よい経験をさせていただきました。うまくいけば、今度の秋募集、次の春募集に要請があがってくるのでしょうか・・・？

少々期待！しつつ・・・、この国の紹介を少ししてみたいと思います。カリブ海に浮かぶ島国ということ、GNP3000ドルくらいあるということ、などなど事前に調べた情報だとかなりトロピカルな国らしい・・・海好きの私は、仕事とはいえかなり期待して日本を立ちました。



本人曰く、屋久島を思い浮かべました

レゲエおじさんとツーショットの筆者の小幡氏

やはり期待は裏切られませんでしたね。経由したアンティグアや、バラバドスなどのリゾートにはもちろんはるかに及びませんが、（例えば、グアムやハワイとソロモン諸島ぐらいでしょうか・・・。いやソロモンよりは大会だ！）真っ青な空とカリブ海、カラフルな町並み、レゲーちっくなおしゃれな人々、週に2、3回豪華客船でアメリカや、ヨーロッパの観光客が立ち寄るので、おいしいレストランも多く・・・。

特筆すべきは、この国には世界遺産に登録されている国立公園があって、山好きの人にはたまらないスポットが散在していました。これはただのトロピカルな国ではない！のであります。屋久島を思い浮かべました・・・いったことはありませんけど・・・。（写真を添付します）

今度は仕事ではなく、個人的に行きたいですね。みなさんいかがでしょう？

小幡 ひとみ（9年度1次隊/ソロモン諸島）でも今度は大陸がいい・・・。

平成14年度役員名簿です。今年もよろしくお願いします。

役職名	氏名	担当
会長	吉田 勝則	会報
副会長	大塚 豊彦	中国ブロック会議
事務局長	中堀 敬三	
会計	河野 次男	広島城秋祭り
	木村 宣子	留守家族懇談会
	橋本 英治	留守家族懇談会
	増原 英代	西条酒祭り
	田中 美佳	広島城秋祭り
	山本 紳	
	渡邊 志保	帰国隊員報告会
	江崎 美穂	エッセイコンテスト
	野澤 幸江	国際協力の日
	伊藤 昭博	西条酒祭り
監事	戸田 喬大	
監事	兼政 博之	

編集後記

第15号やっとこさ出来ました。

広島県OB会のホームページをとうとう立ち上げました。是非是非ご覧ください。そして、いろいろなお意見お待ちしております。

また、会報への投稿などお待ちしておりますので、下記までお送りください。それでは...

あて先：〒730-0805

広島県広島市中区十日市町 1-1-18-1201

吉田 勝則

E-mail: obkai-hiroshima@joca.or.jp